

“ クローズアップ わたしの逸品 ”

シャキッと甘い、旬の果物
りんご

甘味と酸味のバランスや、固さが品種によって様々なりんご。好みも人それぞれですね。栽培自慢のりんごを栽培する高山市久々野の「もだに農園」で、安心して美味しく食べられるりんご作りについてうかがいました。



組合員に聞きました！好きなりんごの品種は？

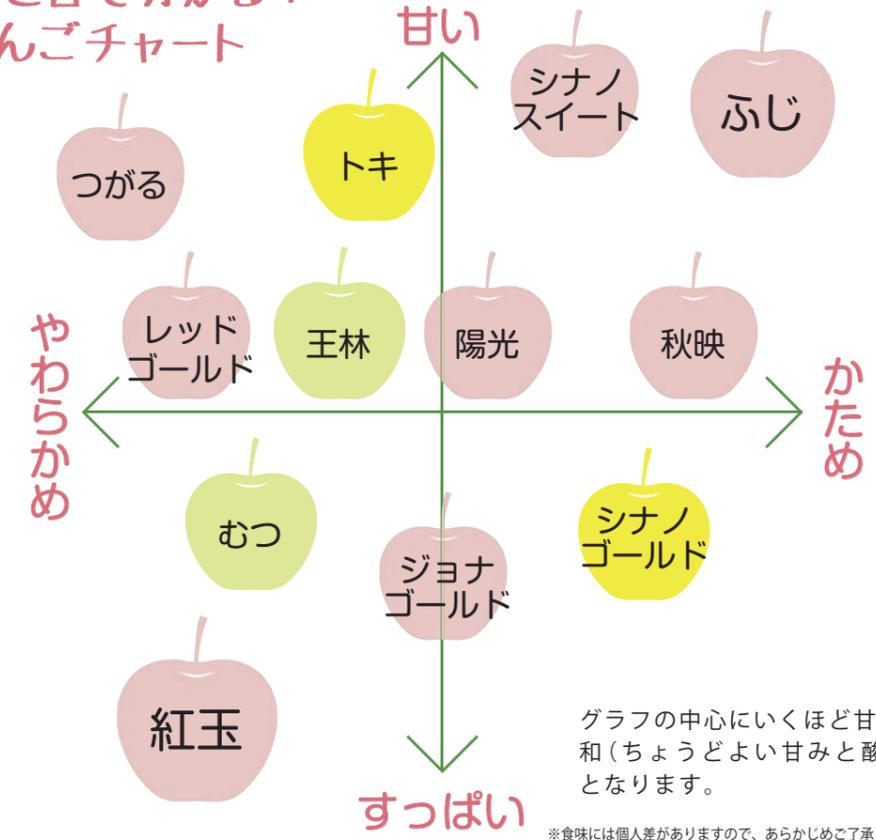
「王林」は柔らかくて甘いんです。子どもが小さい時は王林ばかりでした。赤いりんごは白雪姫の毒りんごを思い出した嫌がったからです。(笑) (岐阜市 Meguさん)

「ふじ」が好きです。シャキッとされていて、スッカリとした甘さ、そのまま食べるのが一番美味しく、手軽に食べられるので気に入っています。(岐阜市 そうけいママさん)

「紅玉」は酸味が強いけど、煮てパンやケーキに入れると甘みも酸味も出て、味が濃くなっておいしいです。(笠松町 アンさん)

「ふじ」のしっかりした歯ごたえと甘みたっぷりなところが好きです。日持ちが良いところも◎です。ふるさと納税の返礼品でたくさんもらっても最後までおいしくいただけます。(美濃加茂市 ぴよよんさん)

ひと目で分かる！
りんごチャート



グラフの中心にいくほど甘酸適和(ちょうどよい甘みと酸味)となります。

※食味には個人差がありますので、あらかじめご了承ください

美味しいりんごを届けるために、
その年にできることを精一杯

農事組合法人 もだに農園 (高山市久々野町)

高山市久々野町にあるもだに農園は、標高約700mの地でりんごやもも、さくらんぼを栽培しています。農園は傾斜地であり、歩いてまわるだけで体力を奪われますが、その反面、地面の水はけが良いため、果物は美味しく育ちます。りんごは9月から早生品種「つがる」の収穫がはじまり、12月上旬に晩生品種「ふじ」で収穫を終えます。現在「コープぎふ」は、もだに農園のりんごを共同購入でおよそ5品種、お店ではおよそ10品種取り扱っています。

減し、2000年に生協の栽培自慢の認証を受けています。コープぎふとは40年以上のつながりがあり、毎年組合員と一緒に農園で交流会を行っています。農園を訪れて栽培方法などを学び、実際にりんごを食べるファンになった組合員も多数います。

もだに農園理事の青木和夫さんは今年りんごについて「今年はこちらのうど開花時期に霜が降り、多くの花が落ちてしまったため、残念ながら収穫量は例年より少なくなる見込みですが、その後は順調に育ち、味は例年通り美味しく育っています。毎年同じ気候ではないため、その年にできることを精一杯行い、楽しみにしていただいている方々へお届けしています。今年もぜひ食べていただき、声を聞かせてください。」とのこと。甘くてジューシーな秋の果実、もだにのりんごを味わってみませんか？



理事の青木和夫さん

※「栽培自慢」は、生協独自の栽培自主基準を満たした農作物認証制度です。栽培状況や農業の使用回数についての計画や記録書類を点検し、認証委員会で承認します。つまり、いつどのような肥料や農薬を使用したのかわかる、農場や生産者が特定できる「顔の見える」農産物です。



飛騨・益田エリア合同企画りんごde交流会



りんごの花



りんご狩り・りんご交流会エピソード

お弁当とレジャーシートを持って行きました。交流会でりんごの皮むき大会に出たいがため、娘らは5才のときに生協で子ども包丁を買い、家で練習し、当日見事1位になりました。その後妹も1位になりました。(高山市 ひなさん)

子どもたちが小学生か幼稚園の頃に4人を連れてりんご狩りに行かせていただきました。もぎたてのりんごはとてもおいしくて、主人は子どもたちを抱き上げ、わたしは下を向いてとにかくりんごをむく作業をがんばっていました。とても良い思い出です。子どもたちも楽しくおいしくて忘れられないです。今度は孫たちと行きたいです。(岐阜市 KAZUさん)



もだに農園さんへ

もだに農園のりんごは好きでよく食べます。これから秋になると楽しみにしています。美味しく食べて安心できます。生産者さんの話が聞けたり試食できたり、私の中では一番のりんごです。(可児市 ミコちゃんさん)

毎年りんごの季節を無事迎えられるように(台風など心配しています。)祈りながら秋を迎え、りんごをいただいています。ご苦労があると思います。今年もおいしくいただけるよう祈っています。(岐阜市 まっきーやっさん)

生協のお店に並び始めると「この季節が来た」と感じる事ができるほど大好きです。またりんごちゃん達に会えるのを楽しみにしています。(岐阜市 みずたまさん)



コープぎふはSDGsの実現に向けて取り組みます。